



# 岡だより

第54号  
 発行日 令和7年7月27日  
 発行責任者 中川郁男  
 人口 1502人  
 (男743人、女759人)  
 世帯数 620世帯 (7/1現在)

## 春の大祭挙行される

5月5日、快晴の空のもと、岡町で春の大祭が盛大に開催されました。まずは田中神社にて、五穀豊穡と皆様の健康、そして当日の安全が祈願され、神聖な空気の中、神輿が出発しました。

大人も子供も揃いの法被で「わっしょい！」と元気な掛け声を響かせながら、色鮮やかな神輿、太鼓を力強く担ぎ、台車を引いて、町内を練り歩きました。沿道には赤ちゃんから大人まで、岡町に住み慣れた方、引越して間もない方など、多くの住民が集まり、笑顔と拍手で応援し、地域の一体感があふれる光景に、伝統を守り、地域の絆を再確認する晴れやかな一日となりました。

こうして無事にお祭りを開催できましたのは、事前に準備してくださった関係者はじめ地域の皆様、多くの方々のご支援とご協力の賜物と深く感謝致します。本当にありがとうございます。

(子ども会会長 田中幾子)



## 子ども特派員

★ 田中結依子 (六年生)

私は、毎年参加しているのですが、最後の年、けがや病気がなく無事に参加できてうれしいです。初めての水干で階段を歩くと、すそを踏んだり、戸惑いはありましたが一生に一度かもしれない貴重な体験ができ、最後には、メロンの筆箱やおかしがもらえてうれしかったです。これからも、岡町の春の大祭が続いていくと良いと思います。



★ 川端莉空 (六年生)

5月5日、子どもの日、岡の田中神社の春祭りが行われました。神輿が始まってから



全員、全力投球で声出しをしながら神輿を担ぐことに取り組みました。後半では、朝よりも気温が高かったけど挫けず初志貫徹で岡を一周して全員で諦めずに回り切りました。神輿は重たく運ぶことは大変だったけれど大変な事ほど、最後までやり通した時に達成感や充実感があって良い春祭りとなりました。これからも岡のつどいなどに取組みます。

五月晴れの下、神輿巡行には幼児や子どもたち110人、自治会役員、宮世話、各種団体役員など90人が参加して盛り上がりしました。保護者の皆さんも巡行に同行、沿道でも一家総出で神輿を迎えました。自治会員の皆様、ヤクルト様、セレマ様、天理教会様などからご寄付や飲物をいただきました。

# 令和7年度

## 自主防災訓練計画

防災事業部長 五十川 静男

平素は自主防災、自衛消防の活動にご理解とご協力頂きありがとうございます。

防災事業部の活動は毎月第2日曜日を基本に北消防署、吉身分団の指導を受けて以下の訓練を実施していきます。

- 4月13日 自主防災会と自衛消防隊の合同会議
- 5月11日 救急医療処置(蘇生)
- 6月8日 消火栓操法訓練
- 7月13日 講演「防災・防火の研修会」
- 8月10日 図上訓練
- 9月14日 初期消火訓練(バケツリレー・水消火器)
- 11月8日 避難訓練(消火訓練・救護体験・煙中避難・地震体験)
- 12月14日 消火栓点検
- 12月27日 年末夜警
- 1月11日 守山市消防出初式参加
- 1月17日 吉身学区防災訓練
- 2月8日 防災機器の取扱いについて

災害時は自助・互助が大変重要になります。

町民皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。



## 救急医療処置法訓練

救急医療処置法訓練が5月11日(日)9時より北消防署の指導のもと自治会館に13名が参加して行われました。

人が倒れていたら、体をたたきながら大声で呼びかけ、意識がなければ119番通報をする。横から見て呼吸がないと判断したら、胸の中心を垂直に体重をかけて、繰り返し押さえる胸骨圧迫を行う。

- ・深く(体重をかけて約5cm)
- ・早く(1分間に100回)
- ・絶え間なく(交代しながら)救急車が来るまで続ける

119番通報したらスマホをスピーカーモードにして、消防署の指示に従い、交代しながら胸骨圧迫を続ける。AEDが来たらスイッチを入れる。その音声指示に従い、パッドを貼り、電気ショックを与え、その後胸骨圧迫を続ける。

当日は実際の救急現場を想定し、消防署とのやりとりをリアルに再現しながら皆さん参加して救命訓練を行いました。なお訓練終了後、北消防署による自治会館の立入検査が行われ、指摘事項はありませんでした。



## 消火栓操法訓練

6月8日(日)消火栓操法訓練が北消防署において行われ、自衛消防隊員など10人が参加しました。

まずホースの結合、延ばし方、巻き取り方の訓練を全員が行いました。次に2つのチームに分け、消火栓からホース3本を連結し、筒先から火元に向けての放水訓練を行い、交代しながら全員が水の圧力を体験しました。

署員からは、「管内で6月7日現在54件と火災が倍増している。火事が起きたときには119番通報、初期消火、避難が大切。日頃から消火栓操法の訓練を重ねていくことが大切である。」とのお話がありました。



## 駅前交番だより

交通事故防止について  
交通事故にあわない、交通事故を起こさないための行動について、ぜひご家族などで振り返ってみましょう!

- 【もしかして(危険予測)】
  - 【とまる(一時停止)】
  - 【みる(安全確認)】
  - 【まつ(安全確保)】
  - 【たしかめる(再確認)】
- この5つがポイントです!

※お願い※  
大人が交通ルールやマナーのお手本を見せましょう。  
通学路や交差点などの「危険箇所」を確認して情報共有し、横断歩道通行時は、横断者に注意して安全確認を怠ることなく、車両を走行させましょう。

子どもは道路で遊ばせず、公園や広場で遊ばせましょう。

### 守ろうマナー

- ★ 犬の糞の後始末
- ★ 猫は室内で飼う
- ★ 生ごみの水切り
- ★ ゴミ袋の名前記入
- ★ スプレー缶、ライターは使い切り自治会館へ
- ★ 路上駐車禁止

守山警察署  
077-583-0110

# 第1回人権同和学習会

第1回人権同和学習会が7月12日(土) 守山市人権教育啓発講師団の奥村信夫氏により「部落(対象区域)の歴史を振り返り、人権尊重のまちづくりについて考えよう」というテーマで行われ、26人が参加しました。最初に五円玉の模様、守山の地名の由来、守山での終戦直前の空襲などの事例をあげられ、事実や歴史を知ることの大切さを述べられました。

「部落問題のおこり」については、「江戸時代までは職業別の集まりとして居住地域の区分はあったが、それは差別という意識からではなかった」「明治以降の統治の中で身分制度を利用したことから部落(対象地域)が生まれることになった」と説明されました。

戦後、同和对策事業などにより、対象地域の生活環境の改善が行われてきたが、同和問題の根本的な解決のためには啓発活動の充実が大切であること、また新聞記事を示しながら、司法の世界での被差別部落に関する裁判事例についても説明されました。終わりに「ひとごとではなく、自分の問題としてとらえる(エンパシー)」

「ゆるやかな人間関係―主体性、多様性、持ち味」を大切にと締めくくられました。



# 第1回すこやかサロン

第1回すこやかサロンが6月28日(土)、70歳以上の人32人、スタッフ10人が参加して開催されました。午前の催し物は大塚了氏の『座敷音頭』。浪花節風に商家の女将さん、旦那、丁稚、番頭のやりとりをコミカルに節を付けて演じ、皆さん大笑いしました。

一緒に弁当をいただいた後、午後はジャンケンゲームに続いてビンゴゲーム。苦勞をしながらも皆さんお目当ての賞品をゲット。最後はカラオケで自慢の喉を競い、梅雨明けの一日を楽しみました。

最後はカラオケで自慢の喉を競い、梅雨明けの一日を楽しみました。



# ごみ集積所立会

7月2日(水) 早朝、守山市役所職員、自治会三役、環境推進員など7人により、ごみ集積所(4班9-3)で立会(破砕ごみ)が行われました。11袋のごみ袋が出されていましたが、その中には名前の書いていないものが2袋、焼却ごみが多数混入しているなど、分別ができていないものが多いと見られました。町民の皆様、「名前の記入」、ごみの分別などごみ出しのルールを守るようお願いいたします。



名前が書いてある。分別がきちんとできている。

名前が記入されていない。布、サンダルなど焼却ごみが多数混入している。

# 守山市あいさつ運動

守山市の「心と心をつなぐあいさつ運動」が7月1日、15日朝行われました。自治会三役、民生委員、青少年育成事業部会員、少年補導委員が集団登校の小学生、自転車の通学の中学生などに声をかけました。また自動車を一旦停止を要請しました。



# 河川清掃

7月6日(日) 8時より恒例の河川清掃が行われ、217人が参加しました。岡の川がすっきりきれいになりました。猛暑の中、皆様お疲れ様でした。



# 公園・遊園の清掃

雨模様で心配された公園・遊園の清掃は予定通り6月14日(土) 8時より実施され、220人が参加しました。生い茂った草を刈り取りすっきりきれいになりました。天候の悪い中お疲れ様でした。



# 花いっぱい運動（上期） ビューティーフラワー

石原 旭（六年生）



まず、歩いて岡団地公園に向かいました。その途中で今日は、うまく植えれるかな、うまく植えればいいな、色の配置は、どないしよう、などなど。むねが高鳴りました。公園に行くですでに人が何人かいて、気あいが入っているなあーと思いました。友達のリくんなんかもう花を植えていて、めっちゃがんばってるやん。と、思いました。まだ9時にもなっていないのに...。けれど、途中は、ぼくが大活やくしました。というの、植える場所を分割する方法をぼくが指示したからだ！。あつとう的なスピード。アイディアがさえる...。それにより花畑は、みちがえるように...。まるでドレスアップしたかのよう...。美しくかがやいた！。



# 寿会GG大会

第21回寿会GG

大会は6月6日（金）立入健康GG場で行われ、参加した17名の会員は久しぶりの大会を和気あいで楽しんでいました。優勝は松山茂さん、2位松山花子さん、3位は坂本義隆さんでした。



# 寿会研修旅行

守山市のバスを利用した恒例の寿会研修旅行は27人が参加して5月20日（火）に開催されました。

午前の研修は彦根地方気象台を訪問。係官から「最近の大雨の傾向」「滋賀県の大雨と台風」などの説明を受けた後、気象観測機器を見学しました。

サガミ五個荘店で昼食、午後はリニューアルした安土城考古博物館。当時の信長を描いた映画や発掘物、古文書を見学しました。



# 町民ニュース

## 水泳50年で日本一に

今回は昨年の「ねんりんピック水泳」で優勝された酒井清則さん（十一班B）を訪ねお話を聞きました。大阪の会社に入ってから水泳を始め、後にイトマンスポーツクラブで本格的に練習を続けた。5年前に岡町に来てからはイトマン堅田に通い、「スイム野洲」というチームを作り練習に励んでいる。

昨春秋、鳥取で行なわれた「ねんりんピック」70〜74歳の部に滋賀県代表として出場。バタフライは4位だったため、25m自由形にかけた。スタートもよくタッチして周りを見て思わずガッツポーズが出た（優勝タイムは15秒20）。

週4回通うイトマン堅田では25m往復を10本休まず泳ぐ。それを5回。若い人たちに負けずに泳ぐために晩酌のビールもやめた。おかげで記録は去年より良くなっている。75歳になったらまた日本一を狙いたいと言って、目を細めておられました。



# 行事予定（8月〜10月）

8月	防災訓練（図上訓練）	（10日）
	三役・部会長会議	（16日）
	地藏盆（子ども会）	（23日）
9月	連絡協議会	（6日）
	初期消火訓練	（14日）
	敬老の日を祝う会	（18日）
	公園・遊園の草刈り（第2回）	（21日）
	（20日・雨天の場合）	
	各種団体長会議	（27日）
10月	花いっぱい運動（下期）	（初旬）
	学区民のつどい・福祉の心を育てるつどい	（12日）
	町民のつどいGG大会（別途）	（26日）
	岡だより発行	（11月6日）

# 第24回 三上山に登る会

最多だった前回を上回る19人の参加で2回目の「小関越え」にチャレンジ。京阪三井寺駅で下車して三井寺へ。桜は3〜5分咲きで期待外れだった。

次の目的地の「かねよ」へ行くのに、小関越えをする班と電車で向かう班の2組に分かれ、歩き組は先にスタート。2回目なのでナビの人がいなくても何とかなると思っていたが、結局迷って20分ほど迷走。電車組との集合時間に遅れ「かねよ」に到着。余分に歩いた事もあって、鰻もビールも最高に美味しかった。

（岸辺記）

